

2017年10月18日（水）

参加者：親子13組（子ども17人） スタッフ：2人

担当：院生2名 担当：村山ゼミ16人 教員：2人

内容：サツマイモ掘り遠足

- ① 13:15 ~ 車内でお名前呼び(タンバリンを使って)
- ② 13:30~ 畑到着 写真撮影 お話 芋ほり開始
- ③ 14:30 ~ 畑を出発
- ④ 15:00 ~ 大学にて解散



バスの中でお名前呼び（写真1）



集合写真（写真2）



クルレの先生の話（写真3）



お芋が見つかるかな（写真4）



やった！たくさん収穫できた！
（写真5）



大きなミミズも
へっちゃら！？（写真6）



やったね！（写真7）



根が長いね！（写真8）

心配された雨も上がり村山ゼミによるサツマイモ掘りを実施することができました。集合場所で参加する親子と担当学生との顔合わせを済ませてからバスに乗り、お名前呼びは車内で行いました。畑に到着してからはまず全体で記念写真撮影。その後、畑を管理している一般社団法人クルレの赤堀先生と幅先生からお話を伺いました。子どもたちは静かに聞くことができました。

お話が終わると子どもたちの小さな手足に長靴と軍手をはめていよいよお芋ほりです。サツマイモは根を横に広く張り、株の中心部分から離れた広い範囲からも収穫できる作物です。学生たちは説明された手順に従いサツマイモを傷つけないように慎重に畝の外側からスコップを入れて、子どもたちが手で掘り出しやすくなるように工夫していました。下準備ができた株のところから子どもたちの芋ほりが開始です。小さなスコップや自分の手で土の中を探りお芋を探し、大きなサツマイモが土の中から出てくるのを真剣な表情でみつめていました。

農薬を使用していない畑なので、大人がびっくりするほど立派なミミズが生息しています。そのミミズを不思議そうに自分の手でつかんではなさない子もいて(写真6)母親たちの笑いを誘っていました。大きなお芋に顔をほころばす子、泥遊びの方に夢中の子、歩きにくい畝の中をゆっくりと足を踏みしめながら歩き回る子など、興味関心のあるところも反応も子どもにより違いがあります。学生たちはそれぞれ担当となった子どもに添いながら話しかけ、時には子どもたちより大きな歓声をあげながら、一緒に芋ほりを楽しんでいる様子でした。